



オンラインホワイトボードMiroを活用した ピアティーチングの取り組み

外国語教育センター 特任講師 玉木祐子

医学科1年生の英語の授業では、学生たちがグループごとに交代で教師役と学習者役を担い、同じ学年の仲間に対して授業を行います。この授業は、単なる知識の習得にとどまらず、内容を咀嚼し、再構築して発信する過程を通じて、創造性や主体的な学びが促進される点が特徴です。オンラインホワイトボード「**Miro**」を活用することで、学生同士の協働や情報共有、学習の振り返りのハードルが下がり、知識の共有と再創造が活性化しました。

この教育実践は、学内の「学びのパートナーシップ」を育むとともに、今後、学外の専門家や地域社会のさまざまな人々（例：地域住民の学習支援、退職後の学び直しを希望する人々、ボランティア活動に参加する市民など）との協働にも広がる可能性を秘めています。教育をより開かれたものにし、多様な主体とつながることは、持続可能な社会を築くための重要な一歩です。